

極秘至急親展

電報

旭部隊長

五二七一
一三三〇
五二七二
一三七〇
受付
提出

附録一九、五、二七

参考
總長、甲、波、登、仁、第五航軍
揚子江方面海軍根據地隊(總章ヨリ傳ヘラレ度)

通電先 支線

旭參電第四九號

一 軍ハ山及鹿部隊ヲ以テ二十七日五時豫定ノ如ク攻勢ヲ開始セリ

二 軍ノ攻勢ハ戰略及戰術的ニ敵ヲ奇襲スルヲ得タリ

三 八時現在山及鹿部隊正面ニ大ナル敵影ヲ認メズ

通城附近ノ約三一四〇〇ノ敵ハ工事中ナリ

又鹿部隊ノ一部ハ佛嶺(崇陽東南一〇軒)附近ニ於テ約二〇〇ノ敵ヲ攻中ナリ

向本日敵場一投ニ曇天ナルモ雲高シ

極秘至急親展

者多ク結局弱小國大國於護下ニ知ルベカラ

サハ非以テ事大主義ト云

三ヶ盟共相國國防及外務又及陸軍部創設後ハ聯

各ヶ盟共相國ハ軍事外ハ各處又及為莫斯利對兵共國

代表ヲ置キ之國防人民自衛部ハ軍事代表ヲ派遣スリ

四ヶ盟ハ英雄ノ敘勳ヲ給フ外護衛部ハ非護衛員ニテ英雄

トナリ敘勳セラル者ハ戦死者中ノ數割者限ル言フ可也

言三下ラス

秘電第三三八號(應註音字由配布)大階級大群ナルニ

付訂出ス

附録一

(終)

第三課

用

才永急親展

電報

五二六一八〇〇發
二七〇四三〇著

五二七一〇五〇〇受付
一四四七提出

昭和一九、五、二七

次長宛

旭部隊參謀長

旭參電第三三號（電註、五月二十七日配布未著分）

龍陵附近ニ突進シ敵ヲ捕捉殲滅スルト共ニ瀏陽河上流地區ヘノ
進出ヲ準備シ又一部ヲ以テ麥市附近ヨリ南江橋方面ニ突進セシ

ムルト共ニ

（終）

極秘急親展

電報

第三課

日誌用

参考 次長、第五航空軍、甲、登、波、仁

通電先 支總

旭電報第三五號

軍ノ攻勢部署（其ノ五）

一 軍部隊（五航空軍）ハ岩及佐部隊ノ新牆附近ニ於ケル渡河及突
 破竝ニ針部隊ノ水上作戰ニ直接協力スルト共ニ戰場及舟艇部隊
 ノ南進ヲ庇掩ス。又漢洋河河畔ニ於テ敗走蟬集スル敵ヲ捕
 捉擊滅スルト共ニ地上部隊ノ戰闘ニ直接協力ス

二 海軍ハ水路啓開隊ヲ以テ二十八日宜昌附近ヨリ行動ヲ起シ漢水
 三 航路標識ヲ架スルト共ニ揚子江ヲ清掃ス

（終）

旭部隊

參謀長

昭和一九、五、二七
 〇〇〇〇〇〇受付
 〇〇〇〇〇〇提出

極秘至急親展

日誌用

電報

三六〇一八二〇〇

昭和十九、五、二七

旭部隊隊長

参考 次長、第五號電、波、發、仁

遺電先 支應

旭參電第三二號 (電誌、一部未著再電要求中ナルモ取敢ズ配布ス)

攻撃ヲ開始シ新贛西側地區ヲ突破シ作戰地境ニ沿フ地區ヨリ師義及新市方面ニ漢洋河南岸地區ヲ突進シ漢洋河河畔ニ敵ヲ捕獲殲滅ス

68

佐部隊ハ二十七日夜攻撃ヲ開始シ主力ヲ以テ新贛東側地區ヲ突破シ長樂街附近ノ漢洋河南岸地區ヲ突進シ敵ヲ捕獲殲滅ス、又各一部ヲ左記ノ如ク突進セシメ山部隊ト策應シテ當面ノ敵ヲ捕獲殲滅ス

左記

- (1) 西塘附近ヨリ沙滂上流地區ヲ經テ南江橋方向ニ
- (2) 隄家橋附近ヨリ朱公橋並ニ甘樂鋪附近ヲ經テ共ニ昌水河谷

第三課

極秘急親展

報

日誌用

二六一八〇〇發
ニセ〇四三〇著
ニセ一〇五〇〇受付
一ニ〇〇〇提出

昭和一九、五、二七

旭 部 隊 參 謀 長

參 考 次長、甲、波、登、仁、五航軍

通電先 支總

旭參電第三三號 (電註、一部未著再電要求中ナルモ取敢ズ配布ス)

軍ノ攻勢部署(其ノ三)

山部隊ハ二十七日未明攻撃ヲ開始シ老河口 崇陽一南江橋一長陽道一沿フ地區ヨリ長陽東南地區ニ向ヒ突進鹿部隊ト策應シテ敵ヲ捕捉殲滅ス、有力ナル一部ヲ以テ昌水河谷ヲ漢洋河南岸地區ニ向ヒ又各一部ヲ以テ南江橋ヨリ沙港河谷ヲ長安橋方向竝ニ昌水河谷ヨリ朱公橋及甘樂鋪方向ニ突進シ(一語不明)部隊ト策應シテ富面ノ敵ヲ捕捉殲滅ス
鹿部隊ハ二十七日未明攻撃ヲ開始シ(電註、以下一部未著)有力ナル一部ヲ長陽東南地區ニ挺進セシメ山部隊ト策應シ敵ヲ捕

捉殺滅ス

竹部除ハ 嶽陽一 通城一 長陽道ニ沿フ 地區ニ一條ノ急造自動車
道ヲ構築スルト共ニ 兵站自動車ノ主力ヲ速カニ長陽ニ挺進スル
如ク其ノ前進ヲ區處スベシ

(終)

1674

97

第三

秘至急親展

電

報

昭和一九、五、二七

二六二六一五發
二四四三三著
二七〇八二〇提出

日誌用

参考 次頁、第五號算。甲。波。登。仁

旭部隊參謀長

通電先 支總

旭參電第三四號

軍ノ攻勢部署（其ノ四）

34

健部隊ハ主力ヲ以テ二十八日前進ヲ開始シ長安一八桃林一新
牆道方面ヨリ。又一部以テ二十七日行動ヲ起シ樂姑山南側地

區ノ敵ヲ擊破シツツ長安橋附近ヲ經テ共ニ歸德北側地區ニ向

ヒ前進ス

54

廣部隊ハ二十八日監利附近ヲ出發、三十日以降揚子江ヲ渡江

先ツ宜昌南方新贛河北岸地區ニ進出ス

（終）

第... (Circular stamp)

極秘至急親展

電報

昭和一九五〇年五月二七日

旭部隊參謀長

五二六、一六〇五發、五二六、二七〇〇受付、五二七、〇四著、五二七、〇四五提

日誌用

參考次長、五航軍、甲波登仁

通電先支總

旭參電第三三號

軍、攻勢部署(其一)

一軍ハ漢水西岸地區及漢洋河以北ノ敵ヲ捕捉

殲滅セントス

40

二成部隊ハ二十八日攻撃ヲ開始シ主力ヲ以テ安陸方面ヨリ

南縣西方地區ヲ經テ一部ヲ以テ華容方面ヨリ月山兩

側地區ヲ經テ共ニ三仙湖市(安陸ヨリ漢水ニ通ズル九

都大河ノ河口附近)附近ニ向ヒ突進シ當面ノ敵ヲ

捕捉殲滅ス

三 龍部隊ハ三八日攻撃ヲ開始シ安郷附近ニ向ヒ突

進シ敵ヲ求メテ撃滅ス

四 野部隊及山峯支隊ハ三八日攻撃ヲ開始スルト共ニ

松滋河ノ線ニ進出シ敵ヲ牽制ス

敵

897

1677

第三課

極秘至急親展

日誌用

電報

共三八〇一五〇發
共三八〇三三三受付
共三八〇〇〇提出

昭和一九、五、二八

旭部隊參謀長

參考 次長、次官、甲、波、登、仁、準

通電先 總軍

旭參電第六一號

山及鹿部隊ノ攻勢ハ順調ニ進展中ニシテ十七時左ノ態勢ニ在リ

一山部隊

大沙市（迎城北北東一五軒陸水河岸）西南高地ニ據レル約一

二營ノ敵ヲ攻撃中

右ヨリ歩兵第三十四聯隊、歩兵第六十八聯隊、歩兵第六聯隊

師團司令部ハ桂口市（大沙市北四軒）ニ在リ

二 鹿部隊

主力縦隊（歩兵第六十五聯隊）ノ先頭ヲ以テ堰市（大沙市南南

東四軒）東南二軒ヲ

左縦隊（歩兵第四百四聯隊）ノ先頭ヲ以テ龍泉渡（崇陽南二〇軒

河岸）附近ヲ

右縦隊（歩兵第四百十六聯隊）ノ先頭ヲ以テ堰市附近ヲ南進中ナ

リ

三 午後時々小雨

（終）

鹿部隊の進軍

第三編

極秘至急親筆

電報

共ニ九〇八ニ五發
一三二〇著

共ニ九一四〇〇受付
一三〇〇提出

昭和一九、五、二九

次長宛

旭部隊

參謀長

目用

旭參電第三二號（電註、五月二十七日配布録ノ分）

軍ノ攻勢部署（其ノ二）

一針部隊ハ二十七日夜一漢水ニ渡江シ一漢洋河ニテ遊航

長樂街方向ニ突進シ敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ陽動及佐

部隊ノ渡河ニ協力ス

二岩部隊ハ二十七日夜

1160

680

第一編

極秘至急

日誌用

電報

参考次長甲波仁乙 戊(漢口)
通電先總軍(南京漢口)

五三、三三五發三、九三〇受付
三八、三三三發三、三〇〇受付

昭和一九、五、元

旭參電第六三號

旭部隊參謀長

軍主力ハ二十七日夜攻勢ヲ開始セリ

19D 一鹿部隊ハ引續キ麥市附近ニ向ヒ突進中ナリ

3D 二山部隊ハ本二十八日有力ナル一部(歩兵第六聯隊、

歩兵第六十八聯隊ノ一部)ヲ以テ通城附近ノ敵ヲ

攻撃スルト共ニ主力ヲ以テ引續キ突進ヲ續行ノ筈

68D 三佐部隊及岩部隊ニ七日二十一時乃至二十四時間攻

撃開始シ(詳前)敵ヲ撃破シテ漢洋河ニ向ヒ突進

中 二十八日十時概テ師團ハ渡河ヲ終ル

40 四威部隊 龍部隊 峯支隊及野部隊ト共ニ二十

60

70

110

50

四時攻撃ヲ開始セルモ 本敵ノ抵抗ナキモシ如シ
五針部隊ハ三ノ日未明揚子江河口ニ達セル筈ナルモ
詳細ハ不明ナリ
六本日雨

(終)

第二編

火至急

日誌

電報

参考 次長 集甲 波登 旭部隊 參謀長

通電 荒 總軍

旭參電第九七號

(電註 一部未着用電要求中是迄配布ス)

一、三十日十時下達 軍命令ノ要旨

二、敵第二〇軍主力ハ關王橋(新牆東南方ニ

口料) 周邊地區ニ據リ抵抗中ナルモ爾後

長陽ニ退却セルモノ如シ

三、集部隊ハ關王橋及長陽周邊ヲ急襲シ

地ニ作戰ニ協力ス

四、軍關王橋附近ヨリ長陽平地ニ至ル地區

昭和一九二六年

五、三〇日發 五、三〇日發 五、三〇日發 五、三〇日發 五、三〇日發

然テ敵第ニ口軍主力及第ニ七集團軍部
ヲ捕捉殲滅スルト共ニ「漢洋河」南岸ノ線
ニ於テ爾後ノ攻勢ヲ準備セントス

二兵團部署ノ概要 (電証以下ノ部未著)

- (1) 佐部隊ハ有カハル一部ヲ以テ朱公橋及甘樂
鋪附近ヲ經テ「長陽」方向ニ突進セシムルト
共ニ主力ハ機ヲ失セズ「漢洋河」ヲ渡河シ甕
江(「長陽」西面四料)附近ニ突進シ爾後ニカハ
甕江北方地區ニ有カハル一部ヲ(詳不明)(「長
陽」東東南方西料)附近ニ集結シ共ニ金井
方向ニ對シ攻撃ヲ準備ス
- (2) 山部隊ハ「長陽」東南方地區ニ突進シ佐及鹿
部隊ト策應シ敵ヲ捕捉殲滅ス

(4) 此部隊ハ長樂街方向ニ突進シ特ニ有カナル

部ヲ長陽ノ東南方地區ニ挺進セシメ敵ノ

退路ヲ遮断ス

14 小健部隊ハ六月二日夜ヨリ主力ヲ以テ新市南

側地區ニ各一部ヲ以テ歸義南側地區及鶴巢

南側地區ニ集結シ達麻山系南側地區

ニ向テ攻撃ヲ準備中

(6) 成部隊ハ六月二日夜南咀附近ニ奇襲上陸シ

刺刀光江附近ニ進出敵ヲ捕捉殲滅ス

(7) 河三連次新橋附近ニ進出ス
宜昌ノ附近ニ於テ渡

(8) 竹部隊ハ崇陽ノ蕭城道ノ自動車道改築
(終)

秘親展

1686

1686

301

301

第三報

秘

電報

次長宛

旭部隊隊長

六月一日配布ノ去著分
六月一日四時受付
六月一日四時提出

昭和一九、六、二

旭部隊第九七號 (秘注。六月一日配布ノ去著分)

(1) 岩部隊ハ一漢洋行一南洋地区ノ敵ヲ急進シテ後主力ハ長樂

街南方地区ヲ保持シテ福林諸方向ニ對シ攻撃ヲ準備ス (終)

秘親展

3821

106

1687

1688

1688

森方参一雷

1688

祝辭ヲ彼シ激勵シアリ

(ハ)「スチルウエル」ハ「フーコン」方面ノ第一線視察中負傷セ

リトノ情報アリ

(③) 敵側宣傳ノ動向

「ブデドン」正面ノ第七師團ハ敗戦ヲ糊塗スベク大々的ニ日

本軍撃退及第一四軍ノ戦捷並ニ「フーコン」方面作戦ノ進捗

ヲ報ジアリ(森方参一雷第一九七五號ニ續ク)

2

(終)



日誌用

傍受電報

六四二二三〇發
六〇〇〇〇著

六〇〇三〇受付
六〇〇二〇〇點檢
五日參本受付

昭和一九六五

旭部 隊 參 謀 長

旭放送第九號（六月四日）

一 軍主力ハ隊定ノ如ク漢洋河南岸地區ヨリ攻勢ヲ發起シ進襲中ナルモ本夕ノ狀況未ダ明カナラズ

二 蔣介石ハ第四軍ヲ以テ長沙ヲ、第五八軍ヲ以テ醴陵ヲ、第四四軍ヲ以テ瀏陽ノ死守ヲ命ジタルモノノ如シ

三 第九九軍長ハ第一六二師ヲ以テ三姐橋附近、第九九師ヲ以テ湘陰、營田ヲ、第九二師ヲ以テ沅江縣、青山（營田西北方七浬）

1689

107

ヲ、第一九七師ヲ以テ益陽ノ死守ヲ命ジアリ

又第九九師ハ營田・大橋ノ間ニ小部隊ヲ派遣シ我が水路輸送ノ
後方遮斷ヲ企圖シアリ

四 鹿部隊ハ長壽街附近ニ於テ未ダ我ノ入手シアラザル十萬分ノ一
地圖二捆ヲ鹵獲セリ。又山部隊ハ南江橋附近ニテ現地米一二〇

〇應ヲ。鹿部隊ハ長壽街北方地區ニ於テ一七〇應ヲ押收セリ

三 鐵部隊（本部及第一、第三聯隊主力）ハ第一線ニ膚接（一語不
明）スル鐵道占領ノ目的ヲ以テ本四日濫五十弓附近ヲ出發。新
市方向ニ向ヒ前進ス

六 明五日ノ天氣豫報

雨時曇、北東ノ風二―四米

（終）

新編秘史親展



秘
記

日誌用

傍受電報

昭和一九、六、六

六六〇三三〇號
六〇〇〇六著 六六〇〇三〇受付
六月六日五時(電報班受付)

旭 部 隊 參 謀 長

旭放送第一〇號(六月五日)

一 第三七軍ハ輕戰ノ後金井附近ヨリ敗走セルモ第九九軍ハ達摩山系
及湘陰附近ニテ抵抗ヲ企圖シアリ

二 軍ハ第九九軍主力ヲ靖江附近揚子江東岸地區ニ於テ捕捉殲滅ノ爲

包圍進撃中

三 各兵團ノ狀況

1691

1691

116 68
(1) 「山」本五日朝主力ハ社港市附近ニ進出ス

(2) 「佐」本朝金井南方地區春華山ニ向ヒ進撃中

(3) 「岩」本朝其ノ第一線ハ「テウケイ」橋(福臨鋪西南一八軒)附

近ニ南進中

(4) 「健」本朝歩兵第二百十六聯隊栗橋(新市南二〇軒)附近、歩兵

第二百十七聯隊大娘橋(歸義南一七軒)附近前面ノ敵攻撃中

(5) 「廣」獨立歩兵第五十二旅團ヲ以テ昨夕新市附近ニ進出ス

(6) 「成」本朝沅江ヲ占領老河口ニ向ヒ前進中ナリ

四月六日ノ天氣豫報曇南ヨリノ風一―二米

(終)

1692

110

第...
極秘至急

電報

參考次長

通電先 支隊、等（共漢口）

旭電第一五三號

旭部隊參謀長

六三一七〇五發
六三〇三四〇著
六三〇四三五受行
六一三三二〇提出

昭和一九、六、六

（電註、一部未著再電要求中ナルモ配布ス）

鹿港及瀨ノ陽邊並ニ第六戰區軍ノ東進阻止ニ任ズ

ニ成部隊ハ沅江附近ヲ占領セバ遠カニ一部ヲ以テ喬口及靖江附近ヲ

經テ白沙洲附近ニ突進シ敵ノ退路ヲ遮斷シ主力ハ五日頃攻勢ヲ開

始シ嶺山橋ハ電註、三語不明一寧郷方面ニ向ヒ爾後ノ作戰ヲ準備

ス

ニ他部隊ハ四日未明攻撃ヲ開始シ主力ヲ以テ新市南側地區ニ一部ヲ

以テ歸襄南側地區ヨリ遠摩山系兩側地區ヲ突破スルト共ニ喬頭川

河口ニ向ヒ突進シ又針部隊ヲ以テ揚子江ヲ遡江セシメ敵ヲ捕獲

滅ス

四岩部隊ハ四日未明攻撃ヲ開始シ長樂街南側地區ヲ突破シ福臨舖附近ヲ經テ王家坡（清江河口北側）ニ突進シ敵ノ退路ヲ遮斷シテ之ヲ捕提殲滅ス

五佐部隊ハ六月四日未明攻撃ヲ開始シ主力ヲ以テ甕江市ニ向ヒ前進中一部ヲ以テ小田（忠著南方二〇軒）附近ヲ突破スルト共ニ金井ニ向ヒ突進次テ上洞市、殷家幻附近ヲ經テ春華山附近ニ突進敵ヲ捕提殲滅ス（電註、以下一部未著）

敵ヲ捕提殲滅スルト共ニ主力ハ七日夕迄ニ該線附近ニ於テ建始西南方ニ向ヒ攻撃ヲ準備ス

七鹿部隊ハ適時行動ヲ起シ七日夕迄ニ永和市（建始東北二五軒）將埠江（永和市東南一四軒）ノ線ニ進出シ建始東南ニ向ヒ作戦ヲ準備ス

八廣部隊ハ七日頃迄ニ福臨舖東西ノ線ニ進出ス

（終）

秘至急

日誌用

報

昭

大

大

大

大

大

大

参考次長、登波第五艦隊

旭部隊參謀長

通電先、支總

旭部隊第二八號

六月五日十五時下達 軍命令要旨

一、敵第三七軍ハ輕賦ノ後 退走中ニシテ岩佐部隊ハ本五日夜清江河

畔ニ進出シ得ルノ態勢アリ

敵第九軍ハ青山、菅田（共ニ湘陰北方ニ於テ）大娘橋（歸義

南ニ於テ）鐵道線上ニ達摩山ノ線ニ於テ頑強ニ抵抗シアリ

成部隊ハ本五日夜清江附近ニ進出セリ

二、軍ハ敵第九軍主力ヲ靖江附近揚子江東岸地區ニ於テ捕捉殲滅

セトス

34 健部隊ハ依然一部ヲ以テ揚子江廻流依然迄大堤橋附近ノ攻勢ヲ考
行スルト共ニ主力ヲ以テ遠征山南麓ヲ繞回シ三姐橋及湘陰方向ニ攻
進シ廣部隊ノ一部ト策應シ敵ヲ遠征山南麓陰間ニ押退スルベシ

46 四岩部隊ハ三岩城 石灰嘴附近ニ出セバ速カニ力ナル一部ヲ揚子
江東岸ニ沿ヒ堵ニ對岸ニ向ヒ北上セシメ敵ノ退却ヲ阻止スベシ

68 五佐部隊ハ馬鞍山南側地帯ノ敵ヲ捕撃スルモ八裏カニ旅團長ノ指
揮スル歩兵三太隊 山砲一大隊 兵隊ノ一部ヲ馬鞍山附近ニ集結
準備シ直轄タシムベシ

大馬部隊ハ旅團長ノ指揮スル歩兵三太隊ニ及ニ大隊ヲ整列スル部隊ヲ選
カニ歸還附近ヲ離テ遠征山南麓方向ニ突進セシメ健部隊ト策應シテ該方面
ノ敵ヲ撃滅スル湘陰ヲ占領スベシ

七成部隊ハ東カニ一部ヲ喬二附近ニ集結シテ敵第九九旅主力ノ南進ヲ
阻止スベシ

阻止スベシ

第三課

極秘

日誌用

傍受電報

旭放送第一一號（六月六日）

六月三日一五號
六月七日六時（電報班交付）

昭和一九、六、七

旭部隊參謀長

一軍主力ハ「瀨陰」(現地補遺)

三〇三脫七〇
ヲ
甲

二三七軍主力ハ「洞陽市」(現地補遺) 東一二軒 北側高地ニ退

却シ同地附近ノ陣地ヲ占領セルモノノ如シ

三「老河口」附近ニハ第七三軍二箇而進入シアルモノノ如ク又「青

山」附近ニハ歩兵一箇、野山砲約一〇門

（此ノ同一通（其ノ四））アルモ空界狀況悪シク通信崩レ落ダシ

キ爲判讀不能

(2) 「岩」¹¹⁶⁰ 歩兵第一三三聯隊ハ本朝「王家坡」(「巫山」北八^{長沙}杆)ニ

進出引續キ「揚子江」^{湘江}右岸ニ沿フ地區「靖江」對岸ニ向ヒ突進中

(3) 「健」³⁴⁰ 歩兵第二一七聯隊「大娘橋」(「湘陰」東一六杆)附近ノ

敵陣地攻撃中「脱」二一六「橋頭驛」(「巫山」西北方北二〇杆)

東北方地區西進中

(4) 「廣」⁵⁸⁰ 歩兵第五二旅團本六日十四時頃「歸義」西南北一〇杆附近

ヲ「湘陰」ニ向ヒ突進中

(5) 「針」²¹⁷⁰ 一營田「附近」攻撃中

翌明七日ノ天候豫報

曇、逐次好天ノ見込、東ノ風一一二米

第三課

極秘

日誌用

僚受電報

六七、二三、三三、五三

昭和一九六八、六月八日、電報受付

部

隊

參謀

長

旭放送第一二號 (六月七日)

一、軍ハ「達摩山」周辺ニ残存セシ敵ヲ掃蕩スルト

共ニ主力ハ逐次期作戦發起、態勢ニ移行

シツツアリ

二、各兵團ノ狀況

豊陽

(1) 「成明」八日ヨリ、「老河口」攻撃ヲ準備中

(2) 「針」湘陰附近ノ敵ヲ攻撃中

(3) 「健」三姐橋附近ノ敵ヲ攻撃中

(4) 「岩」佐主力ハ「清江」北岸地區ニ於テ準備

中 揚子河

(5) 山^{3p}主力ハ次期作戰發起、態勢ニ移行中
 (6) 廣^{3p}部ハ湘陰ヲ攻撃主力ハ三姐橋福
 臨舖^{3p}ノ線ヲ南下中
 (7) 竹^{2p}先頭ヲ以テ「下家冲」(「上搭市」西南南
 約九料)ニ進出ス
 三、明入日ノ天氣豫報
 曇東ノ風——二米

(終)

極秘

傍受電報

昭和一九、六、九

日誌用

旭放送第一三號(六月八日)

旭 部隊 參謀 長

六〇三三〇號 六九〇一〇〇交付
〇二四七番 〇三三三三點檢
九日六時(電報班交付)

一 軍主力ハ瀾陽附近ノ第四四軍及瀾渭河南岸地區ニ對シ作戰準備中

二 廣、古賀支隊ハ本八日早朝湘陰ヲ占領シ城內掃蕩中

三 成、主力ハ本八日日沒後行動ヲ發起シ老河口ノ故ヲ攻撃中

鈴木支隊ハ八日朝琵琶湖(臨此口西一七籽)ヲ奪取シ白馬寺(粟)

一 籽)ニ向ヒ前進中

四 針ハ湘陰附近ノ水路ヲ掃海中

五 六月二日七時迄ノ主ナル戰果

遺棄死體五一、一五、俘虜八〇六、野砲三、迫撃砲一五、速射砲

三、重砲二五、輕砲四七、小銃八九四、擲彈筒二一

我方損害 戦死四一六、戦傷七二九

六 明九日ノ天氣豫報

晴、北ノ風一―二米

(終)

120

1702

181

第二報

極秘

日誌

傍受電報

六一〇〇〇〇〇〇發 六一〇〇〇〇〇〇受付
六一〇〇〇〇〇〇著 六一〇〇〇〇〇〇提出

昭和一九、六、一〇

六月十日五時（電報班受付）

旭放送第一四號

旭 部 隊 參 謀 長

（六月九日）

一本九日夕ニ於ケル敵ノ配置判斷

(1) 第七二軍ハ「梅仙市」及「長壽街」方面ノ尾側撃ヲ企圖シアル

モ活潑ナラズ

(2) 第二二軍軍部及築國軍部ハ「ソシ岩山地」方面ニ潛伏シアルモ

未ダ各師ヲ掌握シアラズ

(3) 第四四軍主力ハ「尾端」及其ノ西北地區ニ新ニ增強中

(4) 第三七軍主力ハ「永安市」(含マス) 東方地區

(5) 第四軍ハ「巫山」周邊地區

(6) 第五八軍主力ハ「醴陵」附近

ニ各兵團ノ狀況

(1) 「鹿」 「水和市」 「蔣家渡」 (東附一二軒) ノ線 明十日未明進

發シ「建始」 南方地區ニ向ヒ攻勢ニ前進ス

(2) 「山」 相公市 (社港市南八軒) 附近 明十日未明進發シ建始南

方地區ニ向ヒ攻勢前進シ「鹿」ト策應シテ第四四軍ヲ捕捉殲滅

ス

(8) 「針」 「湘陰」 南方水路ヲ前進中

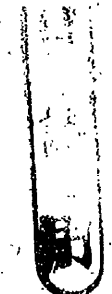
(4) 「成」 「老河口」ヲ攻撃中

三月十日ノ天氣豫報 曇リ後小雨北東ノ風一―二米

(終)

(第一課)

極秘



電

通電先

報 次長、支總軍

昭和一九六一。
六、八、三三、三五、發六九、三三、三五提出
旭部隊參謀長

参考

呂武波

旭參電第二七九號

參電第八八三號(電註山號正面敵情ノ件)返

1) 第九戰區

一、第二軍第三七軍ハ我ガ軍ニ擊破セラレ第二軍ハ

長陽東南方地區ニ第三七軍ハ永安市東方地區ニ

潰走ス

二、第四軍ハ巫山ヲ第四四軍ハ建始ヲ第五八軍ハ

陵ノ死守ヲ命セラレアリテ未ダ退却ノ徵ヲ認

メズ暫編第二軍主力ハ株州以南地區ニ第一軍

1231

1705

ハ萬縣附近ニ在ルモノノ如シ

三、第七軍ハ幕阜山及渣津方面ニ在リテ遊撃ヲ

企圖シアルモ低調

四、第九軍ハ成山建廣ニ數撃セラレツツアリ

(四) 第六戰區

一、宜昌沙市ノ奪回ヲ企圖スル第一八軍ハ宜昌北方地區

ニ、第七九軍ハ公安方面ニ移動中

三、第七四軍ハ常德漢壽附近ニ在リ

第七三軍主クハ逐次老河口方面ニ南下シツツアルモノ

ノ如シ

三、第九二軍ノ一部ハ漁洋關ニ移動ス第六六軍長ノ

指揮ニ入ラシムモノト觀察ス

當面第九戰區ハ我が軍ニ急襲セラレ且他戰區ヨ

増援未^レ實現セズ
蔣介石モ亦巫山防衛ノ自信ヲ失墜シ我ガ攻略後
ニ於ケル内外ニ對スル影響ヲ顧慮シ事前ニ宣傳ヲ
實施シツツアルモノト觀察セラル
但シ第九戰區ニ對シハ巫山ヲ輕ク拋棄シ一舉ニ萬
附近ニ遠ク撤退シ萬縣ハ飽ク違^レ之ガ死守ヲ命
ジアリ

(終)

85125

8051

1707

至急極秘親展

1708

1708

OS1

第二編

極秘至急

電

報

六八〇二五〇

昭和一九六六一〇
發六九三三
吾受付
提出

日誌用

参考、次長第五航軍

旭部隊參謀長

通電先、支總

旭參電第二六九號

軍ノ巫山攻撃準備ニ關シ七日十九時左記要旨ノ命

命ヲ下達セリ

一 敵第一六二師ハ達摩山西麓地區ニ蟠踞シアルモノ如ク

敵第九九師ハ又湘陰及青山附近ヲ占領シテ我ガ水

路啓開ヲ阻止シアリ

第三七軍ハ主クヲ以テ永安市建如間ノ地區ニ第七三軍

一部ハ老河口附近ニ第四四軍ハ建始周邊ニ配セラレ

アリ

二、軍ハ老河口及建始方面ノ敵ヲ捕捉殲滅スルト共ニ
 巫山周邊ノ敵ニ對シ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス
 隼部隊ハ一部ヲ以テ指揮連絡ニ任ゼシメル外老河口附
 近ニ於ケル成部隊ノ作戰及建始附近ニ於ケル鹿
 部隊ノ作戰ニ協力スルト共ニ特ニ揚子江ノ啓開並ニ
 輸送ヲ容易ナラシム
 三、成部隊ハ老河口附近ノ敵ヲ擊滅セバ引續キ寧郷ニ
 白ヒ突進シ敵ヲ索メテ捕捉殲滅スベシ
 舊龍部隊ヲシテ沅江附近ヲ占領シ軍ノ任務ニ
 對シ支援支撐ヲタラシムベシ
 又沅江ニ連繫シ各々歩第一大隊ヲ以テ長百湖南側
 地區及朱良碛附近ヲ占領シ且臨澧靖江間ノ水
 路輸送ヲ容易ナラシムベシ

四 健部隊ハ第一六二師ニ對スル攻撃ヲ適時中止シ概
十日以後趙家障以南ニ於テ揚子江ヲ渡江シ二十
日頃迄ニ敵前進陣地ヲ奪取シ尖山、施家兆、線
ニ進出シ岳麓山ニ攻撃ヲ準備スベシ

五 廣部隊ハ馬鞍鋪附近ニ前進シ十一月迄ニ馬廠(吉
(語不明北四料)龍潭、線ニ進出シ殷公橋方向ニ對シ
攻撃ヲ準備スベシ

六 岩部隊ハ十一月迄ニ「チャトウ」(馬家鋪東南五料)東
冲(春華山西南三料)東端、新懷線渡頭市方向ニ
對シ攻撃ヲ準備スベシ

七 佐部隊ハ十一月迄祖家州(春華山南三料)北盛倉
(東一四料)ノ線ニ進出シ主クヲ以テ東高地、線地區方
向ニ對シ攻撃ヲ準備スベシ

殊勝

八山部隊ハ十日未明攻勢ヲ開始シ下辺橋及其西南
 地區ニ向ヒ秋鹿部隊ト策應シテ敵ヲ捕捉殲滅スベシ
 九鹿部隊ハ十日未明攻勢ヲ開始シ主力ヲ以テ牙際山
 (建始南一二料)方向ニ進入シ山部隊ト策應シ敵
 ヲ捕捉殲滅スベシ

百志摩支隊(旅團長、指揮スル三大隊)ハ十一日夜白
 沙州附近ニ於テ揚子江ヲ渡河シ楓樹鋪(巫山西
 一五料)ニ向ヒ攻撃ヲ準備スベシ

終

061

129

1712

第 二 課

極秘至急親展

日 誌 欄

昭和一九、六、一〇
〇三四五發付
六九〇三三〇著
六九〇三三〇五發付

總 長 苑

旭 部 隊 參 謀 長

旭參電第三〇一號（電註、一部再電要求中ナルモ取敢ズ配布ス）

彦部隊長ヨリ

一八日旭（電註、以下十九日簡不明再電要求中）

ニ演習ハ各方面順調ニ進歩中ニシテ七日以後行フ次期會戰準備ニ關

シ命令ヲ下達セラル。目下直接巫山ヲ守備シアル敵ハ第四軍ノ三

箇師ナルモ要塞化セル陣地ノ攻撃ニ慎重ヲ期シ水路輸送待機中ノ

重砲ノ到着ヲ待ツ爲遺憾乍ラ攻撃開始ハ十五日頃ト豫想セラレテ

リ

ニ後方準備特ニ自動車道二條ノ設定揚子江ノ啓閉ニ關シテハ異常ノ

努力ヲ傾倒セラレアルモ前者ハ降雨等ノ爲阻マレ聲シク遲延シ巫

山會戰ノ爲ニハ專ラ後者ニ期待セザルベカラザル狀況ニアリ

軍ハ防線部隊ノ大部ヲ本水路輸送掩護ニ充當ヲ豫定シアリ

四、海軍ハ右ニ呼應シ水路啓開作業協力中ニシテ既ニ小島及（一）點不明ノ突隊ノ配屬舟艦三隻ノ犠牲ヲ出シタルモ機械水管ノ除去ハ五山附近迄本明日中ニ略々清掃ヲ、十五（六）日迄完全ナル清掃ヲ實施シ得ル見込ナリ

五、航空軍ハ其ノ戦闘隊ノ主力ヲ以テ水路輸送ノ庇掩ニ地上直協部隊船モ亦該方面沿岸作戦ニ密ニ協力シアルモ成部隊ノ如キ演習發起前保有セシ「ヤンマー」一船一二〇隻ガ四分ノ一（三〇隻）ニ減少セル狀況ニシテ演習運命ヲ左右スル水路輸送ヲ確保シ作戦上ニハ少クモ（二語不明）ノ航運戦力ニ比シ（三對一）ハ之ヲ確保セザルベカラザルモノト判断セラル、空地ノ協同ハ極メテ圓滿緊密ナリ

六、集團長ハ（四語不明）附近ニ前進若陸揚ノ概成ニ伴ヒ概ネ十二日頃同地ニ戦闘司令所ヲ進メラル豫定
七、小官本日漢口ニ歸還明十日鄭州ニ向フ豫定

（終）

S61131

1714

第...
極秘

日誌用

傍受電報

昭和一九...
六一〇三三〇發
六一〇三三〇受
六月十一日五時五分電報班受付

號外 旭部隊參謀長

旭放送第五號 (六月十日)

敵ハ老河口 巫山 及 建始 附近ヲ堅固

ニ確保シ 逐次 第二線軍 及 他戰區ヨリノ

増援軍ヲ 巫山 周邊ニ集中 同地周邊ニ

於ケル決戰(進攻阻止)ヲ企圖シアルモノ知シ

建始 及其ノ西北方地區ニ 第四軍 及 第三七

軍主力 堅固ニ陣地ヲ占領シアリ

第五八軍ハ 醴陵 附近ヨリ 建始 東方地區ニ

北進シ 第二〇軍 第七二軍ト相策應シテ

132

1715

鹿部隊ノ包圍ヲ企圖シアリ

(2) 第四軍ハ巫山ニ據リ第九九軍ハ湘陰

老河口ノ間ノ地區ニアリ

(3) 老河口ハ第九九軍ノ一部及第七三軍

(軍部及一箇師)ノ守備シアルモノ如シ又

第七四軍ハ東進ヲ開始セルモノ如シ

(4) 殘餘第二軍ハ依然株州附近ニ在リ

又第一〇軍ハ萬縣附近ヨリ北進ノ

疑アリ

二 各兵團ノ狀況

(1) 鹿本十日五時進發豫定ノ如ク進撃中

ナルモ細部不明

(2) 山主力ハ謝家堰(建始)西地方ニ在リ

及「ヨウ田カ」(西々南方八料)附近ノ敵
 歩兵第三四聯隊ハ洞陽市(永安市)
 東ニ料)西南方四料附近ノ敵ヲ攻撃中
 (7)佐「岩」鹿「八明」十一日ヨリノ攻勢カヲ準備中
 (4)健「白沙洲」附近ニ於テ渡江ヲ準備中
 (5)針「白沙洲」附近ニ向ヒ前進中
 (6)成「主力ヲ以テ老河口」東北約八料附
 近地區ヨリ増水セル「潰江」ヲ渡河シ
 一部ハ老河口」北方地區ヨリ老河口
 敵ヲ捕捉前進中
 又「鈴木」大隊ハ九日未明臨沁口ヲ
 攻略「喬口」ニ向ヒ前進中

68
 6934

桂林

三軍ノ企圖

軍ハ老河口及建始附近ノ殲滅

戦ヲ完遂スルト共ニ巫山ニ攻略及

巴東、株州及醴陵ニ向ヒ作戰ヲ

準備ス

四、明十一日ノ天氣豫報

曇南ノ風——ニ米

(終)

081

135

1718